

**中 東 欧 の**

**安 全 保 障 環 境**

## 北大西洋条約の第4条の趣旨と発動・適用例

第4条 NATO加盟国が自国の安全が脅かされていると認めた時、NATOとして協議を行う。

2003年2月 トルコ イラクにおける紛争。NATOはトルコに空中警戒管制機(AWACS)を派遣

2012年6月 トルコ シリア軍によるトルコ軍機撃墜

2012年10月 トルコ シリアからの砲撃でトルコ住民が死亡

2014年3月 ポーランド、ラトビア、リトアニア

ロシアの侵略行為によりウクライナで緊張

2015年7月 トルコ トルコのシリア国境近くで「イスラム国」によるとみられるテロ

2020年2月 トルコ シリア内で、ロシアに支援されたシリア軍による空爆により、トルコ兵死亡

2022年2月

ブルガリア、チェコ、エストニア、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ルーマニア、スロバキア

ロシアがウクライナに全面侵攻

## 北大西洋条約第5条の趣旨と発動・適用例

第5条 NATO全加盟国は、特定の加盟国に対する武力攻撃を全加盟国に対する攻撃とみなす。

国連憲章が認めた集団的自衛権を行使して、攻撃を受けた加盟国を支援する。

2001年10月2日適用を決定

9月11日に米同時テロ発生。NATOは翌12日、「国外指令による攻撃」と確定した場合、第5条に該当すると判断。

米国が証拠を提示したのを受けて10月2日、NATO理事会で5条の適用を決定。

地中海の海上部隊の配備、米国へのAWACS派遣などの作戦を実施

# NATOの東方拡大

1989	冷戦終結、東欧諸国における体制転換
1991	ソ連の解体
	ポーランド、チェコなど中東欧諸国はNATO加盟を希望
1994	平和のためのパートナーシップ(PfP)を発表
1997	NATO・ロシア常設合同評議会(PJC)設置
1999	ポーランド、チェコ、ハンガリーがNATO加盟
2002	PJCがNATO・ロシア理事会(NRC)に改組
	ウクライナが将来のNATO加盟意思を内外に表明
2004	エストニア、ラトビア、リトアニア、スロバキア、ブルガリア、ルーマニア、スロベニアがNATO加盟
2011～13	NATO・ロシア空軍共同演習

2014年3月	ロシアがクリミア自治共和国を併合
4月以降	ウクライナ東部において、分離派勢力とウクライナ軍が戦闘
9月	ミンスク合意
9月	即応性行動計画(RAP)を採択。NATO即応部隊(NRF)の即応力の強化、高度即応統合任務部隊(VJTF)の創設
2014～16年	国際平和維持活動への参加を主目的とするリトアニア・ポーランド・ウクライナ旅団の創設が実現
2016年	バルト三国及びポーランドに大隊規模の4個多国籍部隊をローテーション展開することが決定(2017年完全運用体制)
2022年2月	NATO即応部隊(NRF)の東欧への派遣の表明
3月	4つの戦闘群を新設し、ブルガリア、ルーマニア、ハンガリー、スロバキアに設置することが決定。

# ミンスク合意

OSCE、ロシア、ウクライナの3者合意

(2014年9月)

- ① 双方による武器の即時使用停止
- ② 武器の使用停止を欧州安全保障協力機構(OSCE)が監視
- ③ ドネツク及びルハンスク州の特別な地位に関する法律を採択
- ④ ウクライナとロシアの間に安全地帯を設置し、OSCEが監視
- ⑤ 全捕虜の即時解放
- ⑥ ドネツク及びルハンスク州事案に関連する起訴・科刑を禁止
- ⑦ 包括的な全国民的対話の継続
- ⑧ ドンバスにおける人道状況改善施策の実施
- ⑨ ドネツク及びルハンスク州の前倒し選挙の実施
- ⑩ ウクライナ領内の不法武装勢力・戦闘員・傭兵の撤退
- ⑪ ドンバスの経済復興及び社会生活再建の計画立案
- ⑫ 本協議参加者の個人の安全を保証

## ブカレスト9（B9）

2014年に発生したロシアのクリミア併合とウクライナ東部への干渉を背景として、2015年11月4日にルーマニアの首都ブカレストで発足。

参加国は、エストニア、スロバキア、チェコ、ハンガリー、ブルガリア、ポーランド、ラトビア、リトアニア、ルーマニアの9か国。

9か国はいずれもNATO加盟国で、NATOの東端を構成しているという地理的状況にある。

ルーマニアのヨハニス大統領とポーランドのドゥダ大統領との会談で、両国の戦略的パートナーシップが締結されたことをきっかけに結成され、2015年11月5日のブカレストでの9か国首脳会合で、今後も相互に対話と協議を深めることを確認し、2018年6月8日に第2回会合が開かれた。

2023年2月22日には、9か国にバイデン大統領、NATOのストルテンベルグ事務総長を加えた首脳会合をポーランドのワルシャワで開催。アメリカやNATOと合同で、ウクライナに揚力な支援をすることで合意。

バイデン大統領は、中東欧が「集団防衛の最前線だ」と述べ、ロシアに対する抑止力強化を進める考えを示した。また、「NATOに対する米国の責務は極めて明確だ」とし、集団防衛義務を果たす決意を改めて示した。会合にはNATOのストルテンベルグ事務総長も出席し、支援強化を呼び掛けた。

# 中東欧各国の安全保障政策とウクライナ支援

## ポーランド

NATO及びEUへの関与・協力の強化を国家の安全保障及び繁栄の柱として位置づけ。中東欧の域内協力の強化を重視。

米国に依拠した対露安全保障を追求。米陸軍の追加派遣や米陸軍第5軍団司令部前方指揮所の常設化が決定。2023年には国防費がGDP比3%に。

ウクライナ支援に積極的で、ウクライナの避難民を非常に多く受入れ。ロシアに対しては伝統的に根強い不信感が存在し、非常に厳しい対露制裁を主張。

ドイツに戦車「レオパルト2」の供与を強く要請、「レオパルト2」14両をウクライナへ供与予定。2月に4両供与。戦闘機「ミグ29」4機を供与。

ウクライナに対する地雷除去や戦車運用の訓練を実施。バイデン大統領、ストルテンベルグNATO事務総長を招き、B9（ブカレスト9）を開催し、ウクライナ支援強化を推進。

## スロバキア

ウクライナへの軍事支援、人道支援及び避難民の受入れに積極的。S-300防空システム等を提供し、ウクライナの装甲車等をスロバキア民間企業で修理する契約を締結。

NATOやEUが提供した兵器や軍事装備品の修復・整備拠点を設置。戦闘機「ミグ29」13機を供与予定で、既に4機供与。



## 中東欧各国の安全保障政策とウクライナ支援

### エストニア

2008年、タリンにNATOサイバー防衛協力センターを設置。  
2014年、エストニア国内からのNATOバルト領空監視ミッションが開始、米陸軍空挺旅団が派遣される。  
英国軍を中心にNATO軍総勢2200人が駐留。米国、フランス、ベルギーの戦闘機が展開。

ウクライナ支援に積極的で、ドイツに戦車「レオパルト2」の供与を要請。  
ウクライナ支援のため、EUが弾薬・砲弾100万発を共同調達する方策を提案。

### ラトビア

NATOのプレゼンスを通じた抑止力及び米国との二国間関係強化を通じた安全保障の確保、EU及びNATOの潜在的拡大を支持。

ウクライナ支援に積極的で、ドイツに戦車「レオパルト2」の供与を要請。  
ウクライナに対する軍事支援への国民の支持率は77%  
ロシアのベラルーシへの戦術核配備に関し、ロシアへの追加制裁を主張。

# 中東欧各国の安全保障政策とウクライナ支援

## リトアニア

2014年のロシアのクリミア「併合」以来、国家防衛と地域の安全保障強化に取り組み、NATO地上部隊も配備。ロシアのウクライナ侵略を受け、NATO駐留部隊が増強され、国防予算も増加。

ウクライナ支援に積極的で、ドイツに戦車「レオパルト2」の供与を要請。欧米諸国による戦闘機や長距離砲の供与が必要と主張。ウクライナに対する軍事支援への国民の支持率は88%。ロシアのベラルーシへの戦術核配備に関し、ロシアへの追加制裁を主張。2025年以降の加盟国の国防費について増額が必要と主張。

## チェコ

EU及びNATOにおける連帯を基本。3月25日、チェコ下院議長が過去最大規模の訪問団を率いて、台湾を訪問。議員や政府機関の幹部、経済界など150人以上が同行。

ウクライナ支援では、チェコが保有する戦車T-72Bについて、米国やオランダの支援を受け、改修してウクライナに供与。

## 中東欧各国の安全保障政策とウクライナ支援

ルーマニア	<p>最大の外交目標はEU及びNATO内における立場の強化。 2016年より、NATOのイージスアショア・ミサイルシステムが実戦配備。 ウクライナの避難民の積極的な受入、モルドバへのエネルギー・財政支援。</p>
ブルガリア	<p>安全保障面での欧米との協調を基本方針としつつも、露へも配慮。 ウクライナ対応では、人道支援中心のウクライナ支援、対露制裁に参加。</p>
ハンガリー	<p>中露との関係強化を目指す「東方解放政策」を掲げ、首脳レベルの会談や緊密な経済協力を実施。 「EUに求められるのは、ロシアとウクライナの間立つことだ」と表明。 ウクライナの主権及び領土一体性を支持する一方、ウクライナへの軍事支援は実施せず。石油を含むエネルギー分野の対露制裁にも強く反対。スウェーデンのNATO加盟を保留中。 ウクライナ避難民は難民として受入れ、人道支援を実施。</p>

## 最近のウクライナを巡る状況

4月4日	フィンランドNATO正式加盟
4月3日	ポーランドが「ミグ29」4機をウクライナへ供与したと発表
3月31日	ベラルーシのルカシェンコ大統領がロシアの戦術核受け入れ表明
3月29日	ウクライナのレズニコフ国防相が大規模な反転攻勢は「4月か5月」との見通し示す
3月27日	ドイツ国防省は、戦車「レオパルト2」18両をウクライナに引き渡したと発表 ウクライナ国防省は、英国から戦車「チャレンジャー2」が引き渡されたと発表。
3月27日	ラトビアの外相は、ロシアのベラルーシへの戦術核配備に関し、EUとG7に追加制裁をSNSで訴えた。
3月26日	リトアニア外務省は、ロシアのベラルーシへの戦術核配備に関し、声明で追加制裁を求めた。
3月25日	プーチン大統領はベラルーシに戦術核を配備する方針を表明
3月23日	スロバキアが「ミグ29」4機をウクライナへ供与

## 中東欧諸国との主な防衛交流

ポーランド	2008年10月	浜田防衛大臣とシコルスキー外務大臣との会談
	2013年3月	小野寺防衛大臣がポーランド訪問・防衛相会談
	2013年9月	左藤防衛政務官がポーランド訪問
	2014年9月	第1回日ポーランド防衛当局間協議(徳地防衛審議官)
	2022年2月	日・ポーランド覚書署名・大臣VTC(岸防衛大臣)
	2022年10月	岡防衛審議官がポーランド訪問・国防副大臣と面談
チェコ	2015年12月	日・チェコ防衛相会談(中谷防衛大臣)
	2017年7月	小林政務官がチェコ訪問
	2022年6月	槌道防衛審議官とチェコ国防副大臣との面談
	2023年1月	井野防衛副大臣がチェコ訪問

## 中東欧諸国との主な防衛交流

エストニア	2015年5月	左藤防衛副大臣がエストニア訪問
	2018年5月	小野寺防衛大臣がエストニア訪問・防衛相会談
	2018年9月	日・エストニア防衛相会談(小野寺防衛大臣)
ラトビア	2018年2月	日・ラトビア防衛相会談(小野寺防衛大臣)
リトアニア	2014年2月	日・リトアニア防衛相会談(小野寺防衛大臣)
	2022年6月	槌道防衛審議官が国防副大臣と面談
ブルガリア	2015年5月	左藤防衛副大臣がブルガリア訪問
	2017年12月	駐日ブルガリア大使の小野寺防衛大臣表敬
スロバキア	2021年6月	中山防衛副大臣がスロバキアの国際会議にオンライン形式で出席

## 国家防衛戦略における中東欧関係の記述

### Ⅲ 我が国の防衛の基本方針

#### 3 同志国等との連携

NATO及び欧州連合（EU）との間では、これら欧州諸国との二国間関係を基礎として、国際的なルール形成やインド太平洋地域における安全保障への関与に関して連携を強化していく。

ロシアによるウクライナ侵略を含む力による一方的な現状変更やその試みに直面し、情報戦、サイバーセキュリティ、SC（戦略的コミュニケーション）、ハイブリッド戦等の先進的な取組を進める北欧・バルト諸国等との連携や、日本との関係強化に関心を示すチェコ・ポーランド等の中東欧諸国との連携を強化していく。